フェニキア・カルタゴ研究会　第５回公開報告会

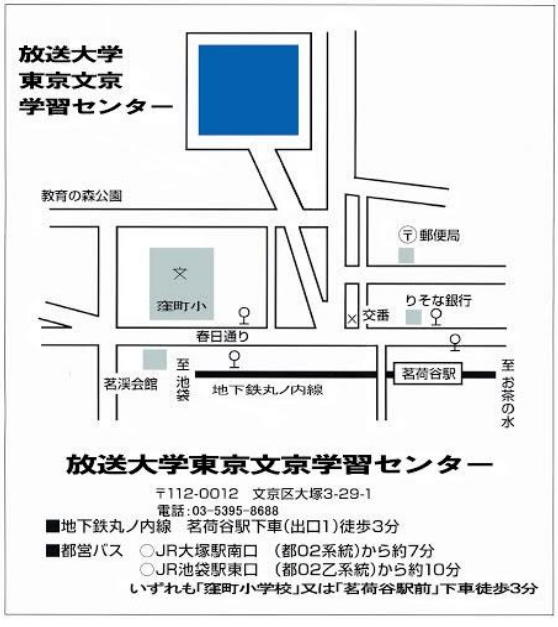
The Society for Phoenician and Punic Studies in Japan

今回のテーマは「古代地中海世界における人々の移動とネットワーク」です。今日のグローバル化した社会において、人々の移動がもたらす衝突や軋轢は、我々が直面する大きな課題でもあります。フェニキア人に代表される古代地中海世界の人々の経験が、現代の我々に訴えるものは何か、そのような視点も踏まえながら、多彩な報告をもとに考えてみたいと思います。会場後方には、ポスターや現地踏査の写真も掲示し、皆様との意見交換や歓談の場も計画しております。是非、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

12：30 開場
13：00 開会の辞
13：10 ①「古代地中海世界における人々の移動を考える」　長谷川岳男（鎌倉女子大学）
13：40 ②「フェニキアの海外発展－アイデンティティとネットワークの変容」佐藤　育子（日本女子大学）
14：10 ③「古代イベリア人とフェニキア、カルタゴ文化」　宮嵜　麻子（東洋大学）
14：40 休憩（15 分）
14：55 ④「古代ローマ帝国属州アフリカにおけるローマ人、ポエニ人、リビア人の関係について」
青木　真兵（神戸山手大学）
15：25 ⑤「ギリシアにおけるフェニキア人についての叙述」　師尾　晶子（千葉商科大学）
15：55 ポスターセッション/フリートーキング
16：25 閉会の辞
16：30 閉会

日時：2019 年 3 月 17 日（日）　13:00～16:30
場所：放送大学東京文京学習センター 多目的講義室１
地下鉄茗荷谷駅下車徒歩３分　（下記地図参照）



スペイン　ドニャ・ブランカの都市遺跡（前 4－前 3 世紀）

参加をご希望の方は、準備の都合上、3 月 15 日（金）までに下記までお申込み下さい。
★連絡先　isatou@fc.jwu.ac.jp（佐藤まで）
＊当日のご参加も歓迎いたします。

JSPS 科研費
18H03587　（基盤Ａ　代表：周藤芳幸）　古代地中海世界における知の動態と文化的記憶
16K03131　（基盤Ｃ　代表：佐藤育子）　地中海におけるフェニキア・カルタゴ文化の発展と変容
16K03122　（基盤Ｃ　代表：師尾晶子）　小アジアにおけるグローバル文化としてのギリシア文化とその地域性に関する研究

主催　フェニキア・カルタゴ研究会